

<令和4年度行政評価対象事業に係る現地視察(R4年8月30日実施)> 当日意見交換メモ

資料3

	日時	場所	当日意見交換メモ ( Q. 委員からの質問等、A. 回答された内容等)
1	R4.8.30	学校給食センター	<p>Q1. 子どもファースト宣言をされ、中学校給食を実施することだが、現在の施設規模で足りるのか。  A1. 小学校向けであれば8,000食まで対応可能。中学校向けの3品献立には対応できない。  Q2. センター方式をやめる方針は無いのか。センター方式のデメリットは。  A2. センター方式のデメリットは温かい料理を提供できないこと、調理器具が限定されており、新しいメニューが提供しにくいこと、等。</p> <p>Q3. 主食は委託しているということだが、プロポーザルに係る資料を提供してほしい。  Q4. 京都市や他市の状況を調査してほしい。給食からプラごみゼロを目指してほしい。  Q5. 給食の感想について、子どもたちの率直なアンケート調査を行ってほしい。  Q6. アレルギー対応の説明で、「欠食」という表現はやめたほうが良いのではないか。</p> <p>Q7. 残飯率はわかるか。  A7. データは集計している。残飯はセンターに集め、水分を抜いてから燃えるごみとして廃棄している。  Q8. 食育指導はどれくらい行っているのか。  A8. コロナ禍となり回数は減少している。  Q9. 亀岡産の食材が占める割合は。  A9. 米(外部委託)は100%亀岡産である。野菜については不明。  Q10. 電気代の高騰による運営経費の上昇は。  A10. 光熱費が直接、給食代に影響することはない。  Q11. もう1品増やせないのか。  A11. 配膳の関係で、通常2品としている。</p> <p>【その他】  ・100%亀岡産の米を使っていることなど、良い面は積極的にPRを。  ・なぜご飯の日も牛乳なのか。お茶ではだめなのか。</p>
2	R4.8.30	みらい教育リサーチセンター	<p>Q1. タブレットを贈与するが、9年間同じものを使用するのか。  A1. 活用状況や機器の状況により更新について検討する。  Q2. ICT教育の具体的な内容は。  A2. オフライン機能では花の観察や体育での活用、ワード・エクセルなど。オンラインでは教科書のQRコードから演習などでの活用、NHKの動画視聴など。家庭学習では、学校と家庭をつなぎ、健康観察や宿題の確認など。  Q3. プログラミングの授業も行っているのか。  A3. 小学校へはリサーチセンターから教材等の提供を行っている。  Q4. 先生の負担軽減にはつながっているか。  A4. プリント配布が減少し、負担軽減につながっている。  Q5. 各家庭のインターネット環境に対する配慮は。  A5. インターネット環境が無い家庭向けにはモバイルルーターを貸し出している。  →委員より…そうした良い面は対象者だけではなく広くPRした方が良いのではないか。  Q6. 学級閉鎖時にオンライン学習が進まなかった原因は。  A6. タブレット導入後間もなかったこと、学級閉鎖の期間が短く、年間の授業日数で調整できたことなどがある。  →委員より…各家庭にPC等がある場合は家庭学習に使用できるようにしてはどうか。  Q7. タブレットを使用した悪用事例は。  A7. 亀岡市では使用制限をかけているため今のところ報告は無い。</p> <p>【その他】  ・現代の子どもは、親がスマホを操作している様子を見ているため、タブレットに対して抵抗感が無いため、より活用を。  ・支援学級の児童など、必要な子がオンラインで授業を受けられるよう活用を。  ・これまでにない発想で活用してほしい。ドリルや図鑑は今までもあった。多くの無料コンテンツを活用し、タブレットを塾のようにして活用を。</p>